

- 問1 2000年時点の日本、アメリカ合衆国、イギリスにおける発電電力量の構成を比較したとき、自国に豊富な資源を持つ背景から、これら三カ国の中で発電に占める石炭の割合が最も高かった国を選びなさい。(2023年 愛媛公立入試 類似)
1. アメリカ合衆国
 2. 日本
 3. イギリス
 4. フランス
- 問2 ある統計資料において、小麦の生産量が非常に多く、かつ自給率が100%を大幅に超えているアメリカ合衆国のような国の農業の特徴について説明した文として、正しいものはどれですか。(2021年 静岡公立入試 類似)
1. 家族経営を中心とした小規模な農地で、多種類の作物を少しずつ栽培している。
 2. 灌漑施設が未発達なため、天候に左右されやすい自給的な農業が中心である。
 3. 広大な土地で大型機械を利用し、低い生産コストで大量生産を行う企業的な農業である。
 4. 労働力を集約的に投入し、手作業を中心とした緻密な耕作を行っている。
- 問3 アメリカ合衆国のミシシッピ川流域から五大湖周辺にかけて広がる地域では、広大な農地でトウモロコシの生産が盛んに行われています。この農業地域の名称として適切なものはどれですか。(2026年 島根公立入試 類似)
1. トウモロコシ地帯 (コーンベルト)
 2. 小麦地帯
 3. 綿花地帯
 4. 酪農地帯
- 問4 1970年代以降、アメリカ合衆国のカリフォルニア州からメキシコ湾岸にかけての南部の地域で、急速な発展を遂げた産業の種類として最も適切なものを選んでください。(2015年 兵庫公立入試 類似)
1. 航空宇宙産業や電子機器などの先端技術産業
 2. 石炭や鉄鉱石の産地に近い場所での鉄鋼業
 3. 安価な電力を利用したアルミニウム精錬などの素材産業
 4. 内陸部の広大な農地を背景とした大規模な食品加工業
- 問5 北アメリカ州の自然環境について述べた文として、地理的な特徴を正しく説明しているものを次の中から選んでください。(2022年 山形公立入試 類似)
1. 大陸の中央部にはグレートプレーンズと呼ばれる広大な平原があり、その西側にはロッキー山脈がそびえている
 2. 大陸は東側でインド洋に、西側で大西洋に面しており、海上交通の要所となっている
 3. 世界で最も面積が大きい大陸であり、北から南まで全ての気候帯が揃っている
 4. 大陸の南部には、世界最大の流域面積を誇る大河が流れており、熱帯雨林を形成している
- 問6 北アメリカなどの大都市では、都市の中心部ではなく郊外に大型のショッピングセンターが多く建設される傾向があります。このような立地が見られる主な理由として最も適切なものを、次の中から選びなさい。(2019年 佐賀公立入試 類似)
1. 都市の中心部に比べて地価が安く、駐車場や店舗のための広大な土地を確保しやすいため
 2. 都市部の地価が高いため、建物を高層化して土地を効率的に利用することが求められるため
 3. 郊外は公共交通機関が非常に発達しており、自動車を持たない層の集客が見込めるため
 4. 都市中心部における大規模な商業施設の建設が、法律によって全面的に禁止されているため
- 問7 アメリカ合衆国の人口構成において、メキシコやカリブ海諸国などの中南米にあるスペイン語圏の国々から移住してきた人々と、その子孫を指す名称として適切なものはどれですか。(2018年 徳島公立入試 類似)
1. ヒスパニック
 2. アングロサクソン
 3. インディアン
 4. アボリジニ
- 問8 世界の資源・エネルギー問題において、ある国の生活水準やエネルギーの使用効率をより多角的に把握するために、国全体の「原油消費量」をその国の「人口」で割って算出される指標の名称として、最も適切なものを選びなさい。(2024年 香川公立入試 類似)
1. 一人当たりの原油消費量
 2. 原油輸入依存度
 3. エネルギー自給率
 4. 単位GDP当たりのエネルギー消費量
- 問9 アメリカ合衆国において、北緯37度より南側に位置する温暖な地域では、1970年代以降、コンピュータや航空機、宇宙産業などの先端技術（ハイテク）産業が急速に発展しました。この地域の呼称として適切なものはどれですか。(2018年 富山県公立入試 類似)
1. サンベルト
 2. スノーベルト
 3. シリコンバレー
 4. ラストベルト
- 問10 アメリカ合衆国の北緯37度以南に広がるサンベルトと呼ばれる地域で、近年、航空宇宙産業や情報技術産業が急速に成長した理由として最も適切な説明を選びなさい。(2025年 和歌山公立入試 類似)
1. 広大な土地と温暖な気候に加え、安価な労働力が豊富であったことで、新しい工場や研究所の誘致が進んだため。
 2. 石炭や鉄鉱石などの鉱物資源が五大湖周辺よりも豊富に埋蔵されており、重厚長大な産業の移転が進んだため。
 3. 北緯37度以北の地域が慢性的な電力不足に陥り、すべての製造業が南部の温暖な地域に強制的に移転されたため。
 4. ヒスパニックと呼ばれるスペイン語圏からの移民が、五大湖周辺の伝統的な工業を支えるために南部へ移住したため。
- 問11 カナダの貿易構造の特徴について、輸出相手国の統計データから読み取れる状況とその背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。(2016年 愛媛公立入試 類似)
1. アメリカ合衆国が輸出総額の約7割以上を占めており、地理的な近接性から特定の国への依存度が高い。
 2. かつての宗主国であるイギリスをはじめとするEU諸国への輸出が、総額の過半数を超えている。
 3. 近年はアジア市場の拡大に伴い、中国がアメリカ合衆国を抜いて最大の輸出相手国となっている。
 4. 広大な国土の資源を自国で消費するため、特定の国に依存せず、世界各国へ均等に輸出している。
- 問12 アメリカ合衆国において、1970年代以降に北緯37度より南の温暖な地域で急速に発展した、先端技術（ハイテク）産業が盛んな地域を何と呼びますか。(2019年 千葉県公立入試 類似)
1. サンベルト
 2. スノーベルト
 3. コーンベルト
 4. シリコンバレー
- 問13 中国における農作物の分布について、東北部や東部の平原地域（華北など）で生産が集中している作物の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。(2023年 北海道公立入試 類似)
1. トウモロコシ・小麦
 2. 稲（米）・茶
 3. サトウキビ・稲（米）
 4. 綿花・コーヒー
- 問14 アメリカ合衆国の北緯37度以南に広がるサンベルトでは、近年どのような産業が発展していますか。その産業の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。(2024年 新潟県公立入試 類似)
1. ICT産業（情報通信技術産業）や航空宇宙産業
 2. 石炭・鉄鉱石を原料とした鉄鋼業
 3. 水力を利用した繊維工業
 4. 五大湖周辺の資源を利用した自動車産業

答え合わせ・解説

問1	答え 1 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、アパラチア山脈周辺などで石炭が豊富に採掘されるため、2000年時点では発電電力量の約半分を石炭火力発電に依存していました。一方、日本は石炭、天然ガス、原子力を組み合わせており、イギリスでは北海油田の天然ガスを利用した発電への転換が進んでいたため、アメリカ合衆国が最も高い割合となっていました。
問2	答え 3 広大な土地で大型機械を利用し、低い生産コストで大量生産を行う企業的な農業である。	高い自給率と膨大な輸出量を両立させている国々の多くは、企業的穀物農業を行っています。これは広大な土地に資本を投下して機械化を進めることで、効率的に大量の穀物を生産する仕組みです。小規模な家族経営や手作業中心の集約的な農業とは対照的な、大規模農業の形態を指します。
問3	答え 1 トウモロコシ地帯（コーンベルト）	アメリカ合衆国の中央平原から五大湖の南側にかけての地域は、肥沃な土壌と適度な降水量に恵まれており、世界最大のトウモロコシ産地として知られています。この地域はトウモロコシ地帯（コーンベルト）と呼ばれ、生産されたトウモロコシは家畜の飼料やバイオ燃料の原料、そして世界各地への輸出用として重要です。一方、小麦地帯はより西側の乾燥した地域に分布しています。
問4	答え 1 航空宇宙産業や電子機器などの先端技術産業	サンベルトでは、それまでの鉄鋼や自動車といった伝統的な重工業ではなく、ハイテク産業（先端技術産業）が発展の原動力となりました。特に、国防に関連する航空宇宙産業や、コンピュータ関連の電子部品などの工場・研究施設が、大学などの研究機関と連携しながら多く建設されたことが特徴です。
問5	答え 1 大陸の中央部にはグレートプレーンズと呼ばれる広大な平原があり、その西側にはロッキー山脈がそびえている	北アメリカ州を概観すると、太平洋に面した西側にロッキー山脈が走り、その東側にグレートプレーンズやプレーリーといった広大な平野・平原が広がっています。大西洋には面していませんが、インド洋には面していません。面積が最大の大陸はユーラシア大陸であり、世界最大の流域面積を持つ河川（アマゾン川）や広大な熱帯雨林（セルバ）は南アメリカ大陸の特徴です。
問6	答え 1 都市の中心部に比べて地価が安く、駐車場や店舗のための広大な土地を確保しやすいため	北アメリカなどモータリゼーション（自動車の普及）が進んだ地域では、買い物客が自動車で来店することを前提としています。都市の中心部は地価が高く、広い敷地や大規模な駐車場を確保することが困難ですが、郊外は中心部に比べて地価が安いいため、広大な土地を利用した平屋建ての大型店舗や巨大な駐車場の設置が可能になります。このような土地利用の特性が、郊外への施設立地を促しています。
問7	答え 1 ヒスパニック	アメリカ合衆国では、地理的に近いメキシコや中南米のスペイン語圏から仕事を求めて移住する人々が増加しており、これらの人々は「ヒスパニック」と呼ばれます。アングロサクソンは主にイギリス系の白人を指し、インディアンは北アメリカの先住民族を指します。
問8	答え 1 一人当たりの原油消費量	国全体の総消費量だけでは、その国がどれだけ効率的にエネルギーを使っているか、あるいは国民がどれほどエネルギーを消費する生活を送っているかを正確に比較できません。人口規模が異なる国同士を比較する場合、一人当たりの消費量を算出することで、個人の生活レベルでの資源依存度を浮き彫りにすることができます。
問9	答え 1 サンベルト	北緯37度を境界線とした南側の地域は、日照時間が長く温暖であることから「太陽の帯」を意味する言葉で呼ばれるようになりました。1970年代以降、それまで工業の中心だった北東部から、気候が良く安価な労働力が得られるこの地域へ、先端技術産業の拠点が移り変わっていきました。スノーベルトは北東部の寒冷な地域を指し、シリコンバレーはサンベルト内の一部（カリフォルニア州北部）にあるハイテク産業の集積地を指します。
問10	答え 1 広大な土地と温暖な気候に加え、安価な労働力が豊富であったことで、新しい工場や研究所の誘致が進んだため。	サンベルトの発展には、航空機の実験や大規模な工場建設に適した広大な土地、そして技術者が働きやすい温暖な気候が大きく寄与しています。また、北東部の古い工業地帯に比べて労働賃金比較的安かったことも、航空宇宙産業や高度な技術を用いるハイテク産業が拠点を移す大きな要因となりました。
問11	答え 1 アメリカ合衆国が輸出総額の約7割以上を占めており、地理的な近接性から特定の国への依存度が高い。	カナダの輸出貿易は、地理的に隣接し、かつてNAFTA（北米自由貿易協定）などの経済連携を強めてきたアメリカ合衆国に大きく依存しています。実際の統計でもアメリカ合衆国が輸出全体の約7割から8割を占めることが多く、これはカナダ経済がアメリカ合衆国の景気動向に大きく左右されやすい構造であることを示しています。
問12	答え 1 サンベルト	アメリカ合衆国の南部から西部にかけて広がる北緯37度以南の地域は、温暖な気候に恵まれていることからこのように呼ばれます。かつて重工業が盛んだった北東部の「スノーベルト」に対して、1970年代以降、豊かな土地や安価な労働力を背景にハイテク産業や航空宇宙産業が集中し、経済成長の主要な舞台となりました。
問13	答え 1 トウモロコシ・小麦	中国の農業分布は、年間降水量約1,000mmのラインを境に大きく異なります。降水量が比較的少なく、冷涼な気候である東北部や華北などの平原地域では、畑作が中心となり、トウモロコシや小麦の生産が大規模に行われています。これに対し、温暖で雨の多い南部地域では、稲作や茶、サトウキビなどの栽培が盛んになります。
問14	答え 1 ICT産業（情報通信技術産業）や航空宇宙産業	サンベルトでは、広大な土地や大学などの研究機関が集積していることを活かし、先端技術を用いた産業が成長しました。特にICT産業や、政府の航空宇宙局（NASA）の施設などが設置されたことによる航空宇宙産業の発展が顕著です。一方、鉄鋼業や自動車産業は、主に五大湖周辺の古い工業地域で発展した産業です。